

出席者：越島(四街道)・傍島(柏)・宮崎(赤いくつ)

松宮(視援奉)・勝井(たんぽぽ)・菅野(こだまの会)・深味(赤いくつ)

松島(のあざみ)・由井(こだまの会)・成嶋(ワルツ)・伊藤(こくぶんじ)

付岡(赤いくつ)・佐藤(伊勢原)・田崎(下丸子)

日時：2023年7月26日(水)14:00～15:30

審議事項

1. 拡大教科書フォーラムが、7月11日 文科省 3F 第1講堂にて開催された。

文科省・AEMC・拡大写本ボランティア 21 団体が参加。(一部はオンラインでの参加)

* 参加者の声として

a. 他のグループと情報交換できたことは良かった。

b. グループ討議はフリートークで、議題が絞られず有効な討論ができなかった。

c. AEMC と同席の貴重な機会なので、もう少し技術的な話ができたらよかった。

* 拡大協以外のグループも参加されていたが、人手不足・製作依頼の格差等、同じように課題を抱えている様子。この ZOOM ミーティングへ招待して、更に議論を重ねてはどうか。あわせて、ZOOM の開催時間をずらせば、多くのグループに参加してもらえるのでは、との意見あり。

2. 令和6年度教科書展示会が、6月～7月にかけて行われた。

* かなり QR コードが多い印象。発行者によって掲載方法も違うが、拡大レイアウト時に QR コードの位置やコードを混同しないよう注意が必要。

3. 教育委員会とのつながりについて

* グループによっては、地域の教育委員会に挨拶状やパンフレット等を送付するなど、PR 活動をしているが、返答・製作依頼に結びつかない。その一方で、地域の教育委員会と繋がり濃いグループは製作依頼が絶えない。教育委員会の担当者の拡大教科書に対する認知度が依然低い地域が多い。

4. 視援奉・松宮様より本の紹介があった。

「奇跡のフォント 教科書が読めない子どもを知って-UDデジタル教科書体開発物語」

高田裕美著 時事通信出版局 2023年3月23日発売 ¥1,980.-

* 書体デザイナーである高田氏が UD デジタル教科書体を如何に開発するまでの話。

次回の ZOOM は 9月27日(水) 14:00～の予定です。(第4水曜日)